

平成24年度予算要求に係る新規事業採択時評価

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業の概要

事業名	一般国道56号 津島道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：愛媛県南宇和郡愛南町柏 至：愛媛県宇和島市津島町岩松	延長	10.3km		
事業概要	津島道路は、四国横断自動車道の一部を構成する南宇和郡愛南町柏から宇和島市津島町岩松に至る延長10.3kmの自動車専用道路である。(四国横断自動車道は、徳島県阿南市から愛媛県大洲市に至る延長約440kmの高規格幹線道路であり、これまでに約277kmが供用済み)				
事業の目的、必要性	当該区間の整備により、東南海・南海地震による津波浸水被害に対するリダンダンシーが確保されるとともに、第三次医療施設等への第三次医療施設への速達性の向上等が図られる。				
全体事業費	約420億円	計画交通量	約6,700台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見	<p>【愛媛県知事】・予算化に同意</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活性化はもとより、救命・緊急医療、大規模災害や原発事故等における避難や緊急輸送など防災・減災に大きな役割を担うため津島道路の整備推進が必要。
----------------	--

学識経験者等の第三者委員会の意見	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業化については妥当である。 防災上のニーズや最新の技術を踏まえ、防災面で使いやすく、コストのかからない道路構造と運用を目指し、最大限の工夫に努めること。
------------------	--

事業採択の前提条件	<p>費用対便益：便益が費用を上回っている。</p> <p>手続きの完了：PI実施済み(平成16年3月)</p>
-----------	--

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.1	総費用：309億円 事業費：293億円 維持管理費：16億円	総便益：338億円 走行時間短縮便益：281億円 走行費用減少便益：40億円 交通事故減少便益：17億円	基準年 平成23年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.0 (交通量 -10%)	B/C=1.2 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=1.0 (事業費 +10%)	B/C=1.2 (事業費 -10%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—			
		事故対策	○	<ul style="list-style-type: none"> 交通を分散させることにより事故件数の減少を図る事業である。(宇和島市津島町嵐付近、宇和島市津島町上畑地付近) 【死傷事故率】237.7件/億台キロ(H18~H21平均値) 死傷事故率比(県内平均比)3.4倍 全国平均(H20)79.4件/億台キロ(県道以上) 愛媛県平均(H20)69.6件/億台キロ(県道以上) 		
		歩行空間	○	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は、通学路にも指定されているものの、幅員2m未満或いは歩道未設置区間も存在。当事業により、通過交通や大型車交通が転換され、歩行者・自転車等交通弱者への安全性が向上する。 		
	社会全体への影響	住民生活	○	<ul style="list-style-type: none"> 第三次医療施設(市立宇和島病院)への速達性が向上し、緊急車両による搬送等の向上が見込まれる。 【第三次救急医療施設60分圏域の人口(愛南町を対象)】 【現況】約2.0万人→【既事業完了時】約2.1万人→【津島道路整備後】約2.6万人 		
		地域経済	○	<ul style="list-style-type: none"> 物流の拠点となる関西方面、関東方面と愛媛県南部地域の連絡時間を短縮し、現在事業中の宇和島道路と連結することにより水産・農産物等の物流活性化及び南予レクリエーション施設などの観光振興が期待される。 		
		災害	◎	<ul style="list-style-type: none"> 当該路線の現道は愛媛県南部唯一の第一次緊急輸送道路に位置づけられており、当該路線の整備により、地震時の津波浸水等により分断される現道に対してリダンダンシーが確保される。 		
		環境	—			
地域社会	○	<ul style="list-style-type: none"> 愛南町から経済中心地である県都松山市や日常生活の結びつきが強い宇和島市へ交流や連携を促進するための地域連携強化が図られるなど交流圏の拡大が期待される。 				
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度(H15年6月~H16年3月)にPIを実施 愛媛県知事や宇和島市長、愛南町長、愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会等より積極的な要望活動が行われており、「命の道」として地元の期待は大きい 				

採択の理由

費用便益比が1.1と、便益が費用を上回っているとともに、PIが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。また、東南海・南海地震など災害発生時における緊急輸送道路の確保、医療施設等拠点への速達性向上、産業支援に寄与するほか、当該事業区間の並行区間における線形不良箇所等を回避し、円滑かつ安全な走行を可能とする等、当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。以上より、本事業を平成24年度予算要求の新規事業箇所として要求する。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

平成24年度予算要求に係る新規事業採択時評価(防災機能の評価)

担当課:道路局 国道・防災課
担当課長名:三浦 真紀

1. 事業の概要

事業名	一般国道56号 津島道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	愛媛県南宇和郡愛南町柏 ～愛媛県宇和島市津島町岩松	延長	10.3km		
事業概要	・四国横断自動車道は、徳島県阿南市から愛媛県大洲市を結ぶ総延長約440Kmの高規格道路であり、これまでに約277kmが供用済みである。 ・津島道路は、四国横断自動車道の一部を構成する道路で南宇和郡愛南町と宇和島市間を連絡し、今後30年以内に60%で発生が予想されている東南海・南海地震による被害発生時の救助・救援活動の支援や緊急物資の輸送、孤立地域の解消を支える基幹経路となるなど、広域的防災に資する道路ネットワークの強化に資する事業である。				
目的					
事業費	約420億円	3便益B/C	1.1		

2. 必要性の評価

(1) 課題の整理

評価項目	当該事業地域の課題・上位計画等	
防災・災害時の救助活動等	<p>【i】緊急輸送物資の円滑な輸送の確保】 ・愛媛県南予地区は東南海・南海地震の想定被害の大きな地域(震度6強、津波高さ約5m)であり、当該区間内でも延長3.6Kmが浸水の影響を受けると想定。 ・近傍に災害時に機能する迂回路が無く現道の寸断による代替路の確保が課題。</p> <p>【ii】減災対策への取り組み】 ・愛南町から宇和島市間において3.6Kmが津波浸水の恐れがあり、愛南町・宇和島市において津波襲来時の避難路となる道路が無い。</p>	<p>※四国圏広域地方計画 「四国圏は、地形的特性や台風常襲地帯に位置していることなどから、毎年のように水害、土砂災害、高潮災害が発生しているとともに、近い将来、東南海・南海地震とこれによる津波の発生が想定されており、これらの災害に対応する防災力の向上が急務となっている。」</p> <p>※高速道路のありかた検討有識者委員会・緊急提言 「広域的な幹線道路ネットワークについては、地域の孤立化や多重性の欠如など災害面からの弱点を再点検し、その克服に向けて、ミッシングリンクの解消や隘路区間の改良など効果的な手法を選択し、緊急性の高い箇所から重点的に強化を行う必要がある。」</p>
住民生活	<p>【i】救急医療施設への速達性の向上】 ・宇和島市以南には、三次医療施設が宇和島市のみであり、高次医療施設への速やかな搬送ルート確保が必要不可欠。</p> <p>【ii】他の交通機関への利便性の向上】 ・沿線地域から広域交通拠点である松山空港等への時間距離が長く連絡性向上が課題。</p> <p>【iii】公共公益施設等への利便性の向上】 ・愛南町から地域の防災拠点となる南予地方局がある宇和島市への距離が長く連絡性向上が課題。</p>	<p>※四国圏広域地方計画 「一部の中山間地域等では婦人課医や小児科医が地域に存在しないといった状況も生じてきており、医療サービス、公共交通サービスの維持・確保が困難となってきたり、圏域内において格差が生じてきている。」 「交通ネットワーク基盤の強化や他圏域へのアクセス性の向上等を通じて、さらなる交流の活性化を推進する取組を重点的に進めることが重要である。」</p>
地域社会 地域経済	<p>【i】周辺市町村との連携の強化】 ・宇和島市から愛南町間の現道区間は津波浸水区間に加え線形不良などの課題により地域間連携に支障をきたす。</p> <p>【ii】産業拠点の分断防止】 ・宇和島市・愛南地区は水産業が基幹産業であり、中でも養殖マダイは県内産の95%を占めているが、安定的な供給が出来なくなることや線形不良箇所による連携時の揺れが鮮度低下につながり、水産物市場間の競争力が低下。</p>	<p>※四国圏広域地方計画 「四国圏が自立し持続的に発展していくためには、交流人口を増やすとともに、住みやすい、住みたくなる地域とすることが重要であり、そのためには、圏域の活力や魅力を高め、地域力を向上させる必要がある」 「四国が一体となって圏域内の結びつきを強化し、他圏域や国外とも交流を促進しないと活力向上は望めない」</p> <p>※高速道路のありかた検討有識者委員会・緊急提言 「主要な市街地や交通拠点と高速道路のアクセス強化、簡易なCの増設等による地域との連絡強化などのネットワーク機能の向上」</p>
その他	-	

(2) 事業の必要性

東南海・南海地震における緊急輸送道路の確保、地域産業(水産業)の活性化の支援、平常時も含めた救急搬送のための速達性確保といった様々な課題に対応するため、事業の必要性があるものと評価する。

3. 有効性の評価

(1) ネットワーク上のリンクとしての評価

①主要都市・拠点間の防災機能の向上					
区間	リンクの評価	リンクの評価		効果	評価
		現状(整備前)	(目標)整備後		
愛南町(主要都市)	宇和島市(重要港湾) (3次救急医療)	D	(B) B	・現道は津波浸水区域が存在し、津波浸水により通行止めとなる可能性が高い。(Dランク) ・津波浸水区域を避けて計画されている本道路は、大規模地震時の通行止めを回避できることから、当該リンクの災害危険性の低いBランクに改善され、地域の孤立も解消。	◎
②ネットワーク全体の防災機能の向上					
弱強度(整備前)	弱強度(整備後)	リンクの評価		効果	評価
		改善度			
当該リンクが遮断され不通(∞)	0.5	当該リンクの整備により不通が解消(∞)		当該リンクの整備により、愛南町から宇和島市間の災害時の不通が解消することにより、ネットワーク全体の防災機能向上。	◎

(2) 当該事業としての評価

評価項目	事業による効果	評価
防災・災害時の救助活動等	<p>【i】緊急輸送物資の円滑な輸送の確保】 ・救援物資輸送の拠点となる宇和島港や松山空港までの連絡時間を短縮。 愛南町～宇和島港:64分→49分(15分短縮)うち当該事業64分→52分(12分短縮)</p> <p>【ii】減災対策への取り組み】 ・津波の影響を受けない位置に計画しており、津島町浦知～嵐地区の避難場所や避難路として活用可能。(孤立人口:約2.4万人→約2.2万人)</p>	◎
住民生活	<p>【i】救急医療施設への速達性の向上】 ・負傷者受け入れの拠点となる市立宇和島病院への救急搬送の速達性が向上。 愛南町～市立宇和島病院70分→55分(15分短縮)うち当該事業67分→55分(12分短縮) ・三次救急医療施設の60分カバー圏人口:約5,000人増加</p> <p>【ii】他の交通機関への利便性の向上】 ・愛南町から宇和島市間において高速道路が連続し時間短縮が図られ、広域交通拠点との連携が強化。 愛南町～松山空港:181分→166分(15分短縮)うち当該事業181分→169分(12分短縮)</p>	◎
地域社会 地域経済	<p>【iii】公共公益施設等への利便性の向上】 ・愛南町から宇和島市間において高速道路が連続し時間短縮が図られ地域の防災拠点である南予地方局への連携が強化。 愛南町～愛媛県南予地方局:67分→52分(15分短縮)うち当該事業67分→55分(12分短縮)</p> <p>【i】周辺市町村との連携の強化】 ・愛南町から松山市及び地域経済の中心地である宇和島市との輸送が安定的にできることや連絡時間を短縮し、流通の利便性が向上することで流通の強化が期待される。 愛南町～津島高田IC:40分→25分(15分短縮)うち当該事業40分→28分(12分短縮)</p>	◎
その他	-	

(3) 事業の有効性

・当該事業の実施により、ネットワーク上のリンクの評価がDランク→Bランクに改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。
 ・孤立箇所の削減など津波への適応性が改善するとともに、速達性の向上により、救急搬送の改善(三次救急医療施設60分圏域人口が0.5万人増)や地域間の連携が促進されるなど、有効性の高い事業と評価する。

4. 事業実施環境・第三者意見

事業実施環境	<ul style="list-style-type: none">・平成15年度(H15年6月～H16年3月)にPIを実施・愛媛県知事や宇和島市長、愛南町長、愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会等より積極的な要望活動が行われており、「命の道」として地元の期待は大きい
--------	--

愛媛県	当該区間の新規事業化と事業推進を強く希望します。
社会資本整備審議会 道路分科会 事業評価部会	「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。
社会資本整備審議会 地方小委員会	「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。

5. 対応方針

<p>・当該事業により、愛媛県西南地域のネットワークが強化され、愛南町～宇和島市における幹線道路の信頼性や速達性が向上することや、緊急輸送等の円滑化が可能となり、迅速な復旧活動や被災地域の復興を支援すること、さらにミッシングリンクの解消や各地域の広域的な連携に貢献等が認められることから、防災機能の評価結果も踏まえ当該事業の必要性・有効性は高いと判断できる。</p> <p>以上より、本事業を平成24年度予算要求の新規事業箇所として要求する。</p>
